

『認知症看護研修』 研修会実施報告

日時 : 令和3年1月23日(土) 09:00~16:00

対象者 : 33名

参加者数 : 33名

目的 : 認知症患者の看護に必要な基礎的知識と適切なケアについて学ぶ

<講師の紹介>

公益社団法人 兵庫県看護協会

教育・認定部 専任教員

認知症看護認定看護師 吉見 薫先生



<内容>

はじめに認知症の特徴を知るため脳の働き、認知症の原因となる疾患や症状についての講義がありました。認知症の人を理解することは認知症という病気だけを見るのではなく、相手の事を「認知症を持つ人」として捉える事が重要であるということが述べられていました。対象がどのように暮らそうとしているのか、本人のこれまでの体験・背景を知る事が相手を理解する上で重要であると感じました。



次に、認知症の人とのコミュニケーションを図る上で必要な基本姿勢をもとに、コミュニケーション技術においては“お隣セッション”や“グループワーク”を用いて学びを深めていきました。適切にコミュニケーションを図ることで対象の「人となり」や「価値観形成に及ぼしたもの」を知る事ができ、実際のケアに繋げる事ができます。対象のニーズや課題を導き出すことができるようこの研修での学びを活用させてもらいたと思います。